

# 広島市植物公園 見どころ案内

## アナベル

(アジサイ科)  
北米原産のアジサイ。純白の花は大きく、育てやすいことから庭植えにお勧めの品種です。うらら池沿いにたくさん植えています。

2019年7月6日  
通巻第422号

### 展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (6/15~7/24)  
冬虫夏草と昆虫展
- ◇展示温室 (6/19 ~7/15)  
夏のカラフルリーフ展

## ロシアヒマワリ (キク科)

北アメリカ原産のヒマワリですが、草丈が3mほどになり、大きな黄色い花をつけています。一番花は種をつけようとしていますが、蕾がまだまだあがってきています。名前の由来はこの大きなヒマワリをロシア人が好み、庭に多く植栽していることから来ています。

## ダシリオン

(キジカクシ科)

米国~メキシコの乾燥地帯原産。公園では4年ぶり、5回目の開花になります。5mにもなる花穂を上げています。葉には丈夫な繊維があり、屋根やかご、ロープの原料になります。

## ソーセージノキ

(ノウゼンカズラ科)

アフリカ西部辺りに分布し、一属一種で、花は夜に咲きます。8月上旬になると、ソーセージのような実をつけます。受粉はコウモリが行います。

## グロリオサ (イヌサフラン科)

熱帯アジア~アフリカ原産で、つる性でユリに似て反り返った花を咲かせる球根植物です。有毒で、ヤマノイモに似た球根の誤食による死亡例もあります。

## ムラサキギボウシ

(キジカクシ科)

東南アジア原産のギボウシの紫色のもので、ひときわ目を引きまます。

## ゴンズイ

(ミツバウツギ科)

東アジア原産の落葉小高木で、赤い実が良く目立ちます。名前は魚のゴンズイから来ているなどの説があります。

## サボンソウ(ナデシコ科)

南ヨーロッパに自生しており、根茎にサポニンを含むことから、古くから石鹸として利用されていました。

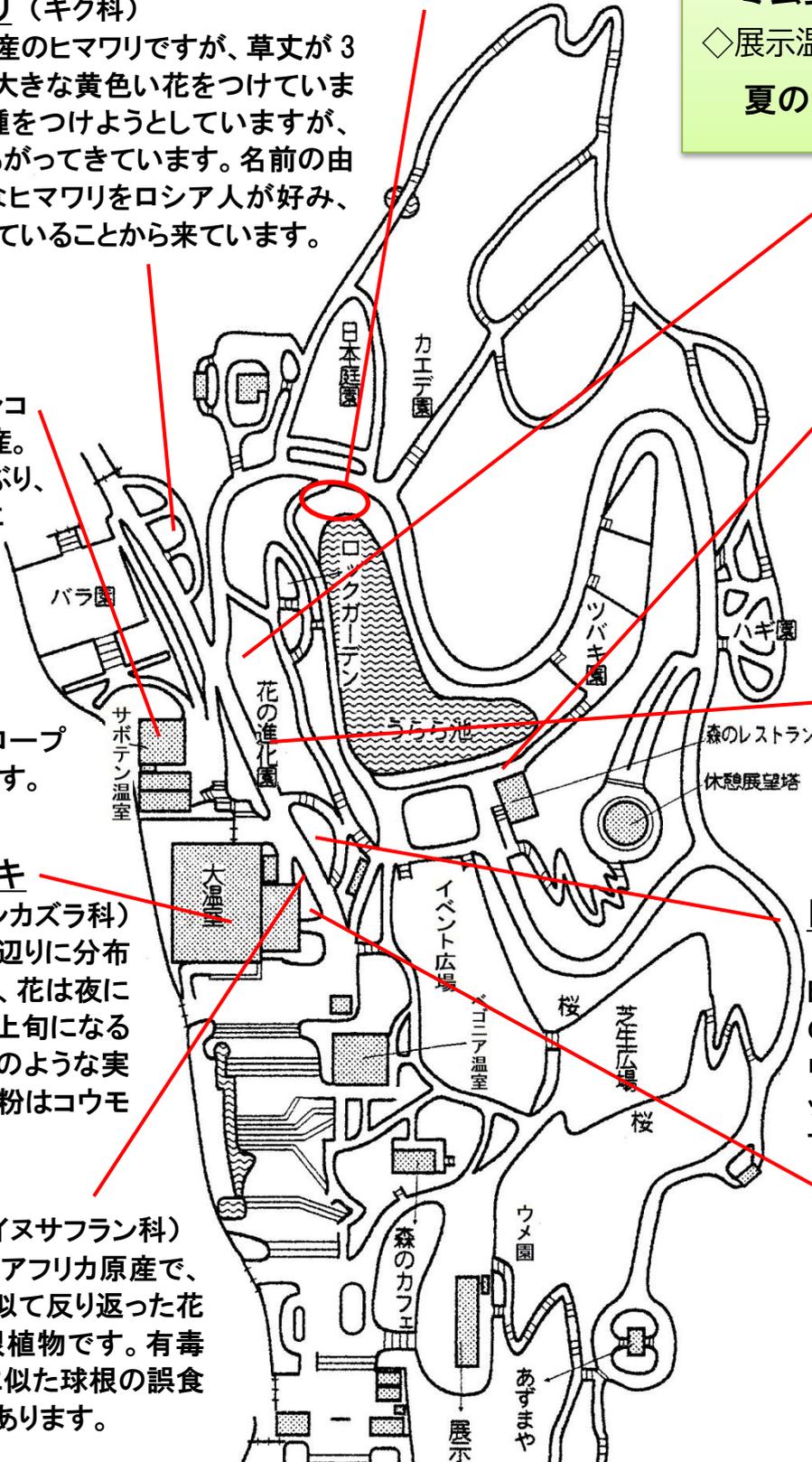
## トケイソウ (トケイソウ科)

三つに分裂した雌しべが時計の針に見えることからこの名があります。大温室の中にはクダモトケイソウ(パッションフルーツ)もあります。

## イエローカサブランカ

(ユリ科)

別名コンカドール。オリエンタルのユリと中国原産のトランペットリリーの交配種。花の中央部付近から黄色になり、雄しべは赤色です。



- ✿毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します✿
- ✿毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します✿
- ✿7月6日から21日までの土日に「カブトムシと学ぶ樹木」を行います。  
詳しくは園内掲示のポスターをご覧ください。✿